

2022年度 学生生活の満足度調査結果（看護学科）

1 調査回答者

4年次 78名（調査対象：79名 回答率：98.7%）

2 調査結果

1) 満足度調査

総合的な満足度（「満足」＋「やや満足」）：74%

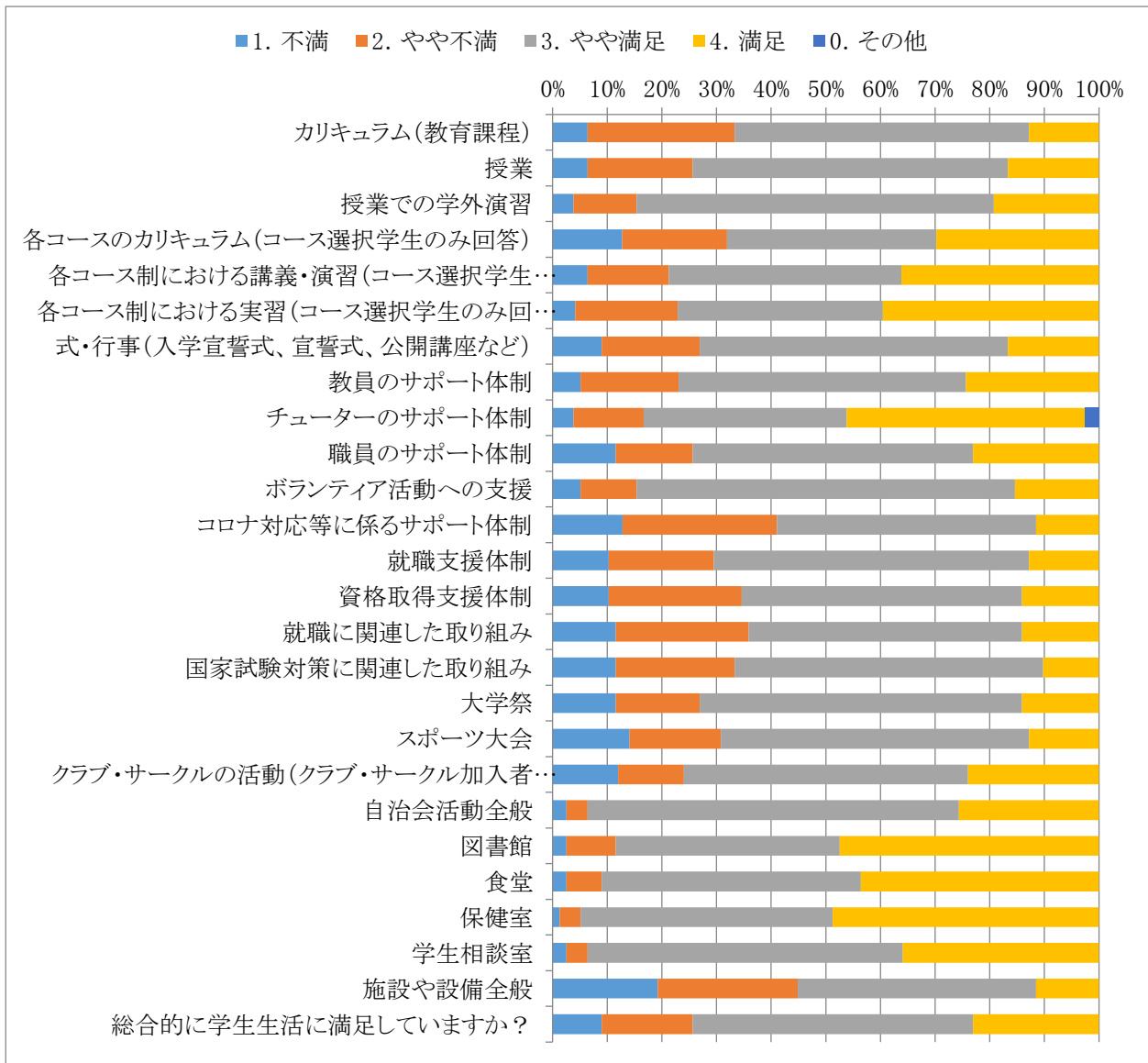
領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	5人 6%	21人 27%	42人 54%	10人 13%	0人 0%	78人
	授業	5人 6%	15人 19%	45人 58%	13人 17%	0人 0%	78人
	授業での学外演習	3人 4%	9人 12%	51人 65%	15人 19%	0人 0%	78人
	各コースのカリキュラム (コース選択学生のみ回答)	6人 13%	9人 19%	18人 38%	14人 30%	-人 -	47人
	各コース制における講義・演習 (コース選択学生のみ回答)	3人 6%	7人 15%	20人 43%	17人 36%	-人 -	47人
	各コース制における実習 (コース選択学生のみ回答)	2人 4%	9人 19%	18人 38%	19人 40%	-人 -	48人
	式・行事 (入学宣誓式、宣誓式、公開講座など)	7人 9%	14人 18%	44人 56%	13人 17%	0人 0%	78人
学生生活	教員のサポート体制	4人 5%	14人 18%	41人 53%	19人 24%	0人 0%	78人
	チューターのサポート体制	3人 4%	10人 13%	29人 37%	34人 44%	2人 3%	78人
	職員のサポート体制	9人 12%	11人 14%	40人 51%	18人 23%	0人 0%	78人
	ボランティア活動への支援	4人 5%	8人 10%	54人 69%	12人 15%	0人 0%	78人
	コロナ対応等に係るサポート体制	10人 13%	22人 28%	37人 47%	9人 12%	0人 0%	78人
キャリア アップ	就職支援体制	8人 10%	15人 19%	45人 58%	10人 13%	0人 0%	78人
	資格取得支援体制	8人 10%	19人 24%	40人 51%	11人 14%	0人 0%	78人
	就職に関連した取り組み	9人 12%	19人 24%	39人 50%	11人 14%	0人 0%	78人
	国家試験対策に関連した 取り組み	9人 12%	17人 22%	44人 56%	8人 10%	0人 0%	78人
自治会 活動	大学祭	9人 12%	12人 15%	46人 59%	11人 14%	0人 0%	78人
	スポーツ大会	11人 14%	13人 17%	44人 56%	10人 13%	0人 0%	78人
学科 行事	クラブ・サークルの活動 (クラブ・サークル加入者のみ回答)	6人 12%	6人 12%	26人 52%	12人 24%	-人 -	50人
	自治会活動全般	2人 3%	3人 4%	53人 68%	20人 26%	0人 0%	78人
施設	図書館	2人 3%	7人 9%	32人 41%	37人 47%	0人 0%	78人
	食堂	2人 3%	5人 6%	37人 47%	34人 44%	0人 0%	78人
	保健室	1人 1%	3人 4%	36人 46%	38人 49%	0人 0%	78人
	学生相談室	2人 3%	3人 4%	45人 58%	28人 36%	0人 0%	78人
	施設や設備全般	15人 19%	20人 26%	34人 44%	9人 12%	0人 0%	78人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	7人 9%	13人 17%	40人 51%	18人 23%	0人 0%	78人

2) 自己点検

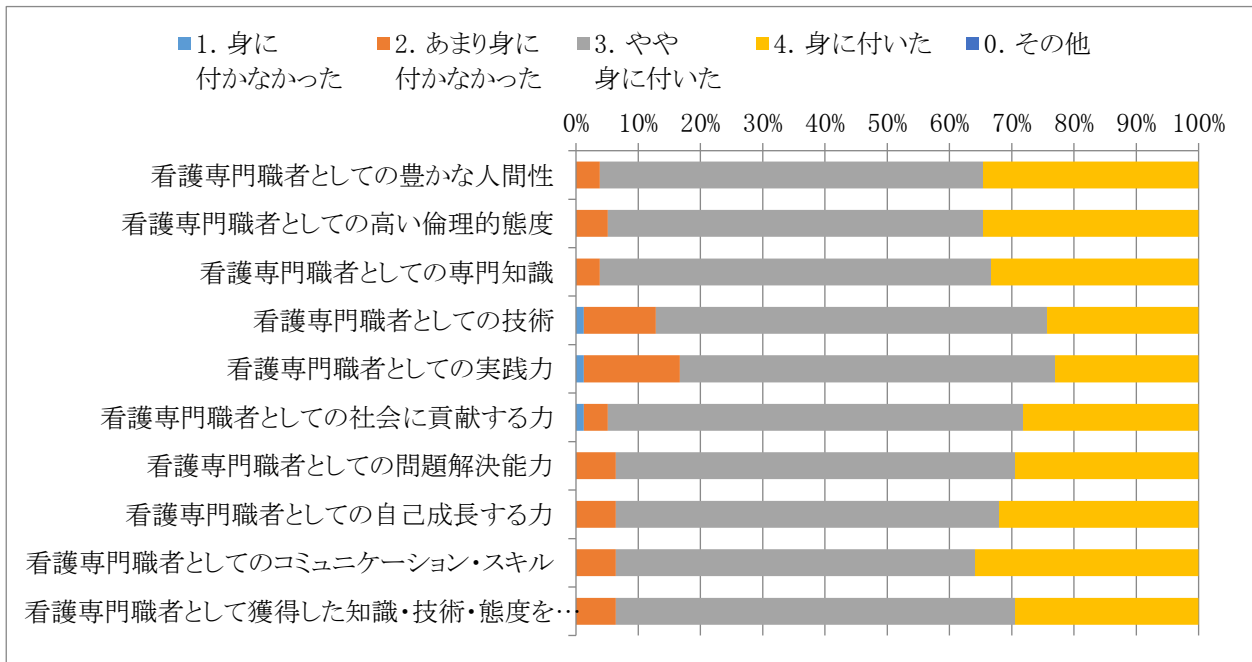
項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
看護専門職者としての豊かな人間性	0人	0%	3人	4%	48人	62%	27人	35%	0人	0%	78人
看護専門職者としての高い倫理的態度	0人	0%	4人	5%	47人	60%	27人	35%	0人	0%	78人
看護専門職者としての専門知識	0人	0%	3人	4%	49人	63%	26人	33%	0人	0%	78人
看護専門職者としての技術	1人	1%	9人	12%	49人	63%	19人	24%	0人	0%	78人
看護専門職者としての実践力	1人	1%	12人	15%	47人	60%	18人	23%	0人	0%	78人
看護専門職者としての社会に貢献する力	1人	1%	3人	4%	52人	67%	22人	28%	0人	0%	78人
看護専門職者としての問題解決能力	0人	0%	5人	6%	50人	64%	23人	29%	0人	0%	78人
看護専門職者としての自己成長する力	0人	0%	5人	6%	48人	62%	25人	32%	0人	0%	78人
看護専門職者としてのコミュニケーション・スキル	0人	0%	5人	6%	45人	58%	28人	36%	0人	0%	78人
看護専門職者として獲得した知識・技術・態度を総合的に活用する力	0人	0%	5人	6%	50人	64%	23人	29%	0人	0%	78人

3 グラフ

1) 満足度調査



2) 自己点検



4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

全26項目の満足度調査項目の内17項目において、満足を示す項目「やや満足」「満足」の占める割合が70%以上であった。特に90%以上を占めている項目は4項目であり、「保健室」95%、「自治会活動全般」「学生相談室」94%、「食堂」91%であった。

80%代を占めた項目は4項目であり、「図書館」88%、「授業での学外演習」「ボランティア活動への支援」84%、「チューターのサポート体制」81%であった。

70%代を占めた項目は9項目であり、「各コースにおける講義・演習」79%、「授業」75%、「各コースにおける実習」78%、「教員のサポート体制」77%、「職員のサポート体制」74%、「就職支援体制」71%、「大学祭」73%、「クラブ・サークル活動」76%、「統合」74%であった。

60%代を占めた項目は7項目であり、「スポーツ大会」69%、「各コースのカリキュラム」68%、「カリキュラム（教育課程）」67%、「国家試験対策に関連した取り組み」66%、「資格取得支援体制」65%、「就職に関連した取り組み」64%、「式・行事」63%であった。

50%代は2項目であり、「コロナ対応等に係るサポート体制」59%、「施設や設備全般」56%であった。

(2) 要因分析

90%を占めた4項目の内、3項目は施設領域を占めておりコロナ禍においても大学内で学修する環境が保たれていたと考える。保健室と学生相談室については、国家試験や就職活動、卒業論文等で精神的ストレスを感じる中、利用することによってストレスを緩和することができる場所として満足を感じていると捉えることができる。食堂については昨年度よりも10%上昇しており、食堂協議会を通してコロナ禍の中で、できるだけ学生からの要望をくみ取り食事内容や種類など考慮し提供して下さったことが要因であると思われる。また、昨年度80%台であった自治会活動についても94%と満足度が高くなった。これまで開催できなかったスポーツ交流会や大学祭が開催されたことから魔族度が高くなったと考えられる。特に大学祭については小規模でありながらも、

受験生である4年生も参加し日頃のストレスを発散するように楽しんでいる姿を見ることができたことから伺える。

80～70%台については、「授業での学外演習」「ボランティア活動への支援」が含まれており、コロナ禍による活動制限が緩和されてきたことから、活動範囲が徐々に拡大しボランティア活動等も行える状況であったことから満足度が高くなったと考える。また、「各コースにおける講義・演習」、「各コースにおける実習」が含まれていることから、目指したコースについての講義や演習等を行えることに対して満足することができているものと思われるが、一昨年度はコロナ禍でありながら90%代であったことと比較するとやや満足度が低くなっている。「チューターのサポート体制」「教員のサポート体制」「職員のサポート体制」について、卒業までに就職活動や学修等多くの課題がある中で教職員のサポートを受けたと感じられる対応ができていたものとする。学生に寄り添った対応については今後も引き続き行うこととし、内容については検討していく必要があると考える。

「コロナ対応等に関わるサポート」「施設設備全般」が50%代であったことについては、2年次後半から施設に実習する中で新型コロナウイルス感染予防対策に関連した制限を強いることが多く、施設利用の制限も強いられ窮屈な大学生活を送ることが多かったことから満足度が低くなったと考えられる。

(3) 本年度の対策

新型コロナウイルス感染に対する対応が緩和する中でも、施設へ実習に行くことや受験生でもあることから、これまでと変わらず感染予防対策が必要である。そのような状況であっても、学生生活の中で自治会行事やサークル活動など最後の思い出作りができるよう、学生が希望する活動が行われるようにしていきたい。コース制についての対応は、就職活動にも関わってくるため早めに対応する必要があると考えている。

2) 自己点検のまとめ

調査項目10項目すべてにおいて「やや身に付いた」「身に付いた」の占める割合が80%以上であった。特に90%以上を占めた項目は8項目であり、「看護専門職としての豊かな人間性」97%、「看護専門職としての専門的知識」96%、「看護専門職としての高い倫理的態度」「看護専門職としての社会に貢献する力」95%、「看護専門職としての自己成長する力」「看護専門職としてのコミュニケーション・スキル」94%、「看護専門職として獲得した知識・技術・態度を総合的に活用する力」93%、「看護専門職としての問題解決能力」91%であった。80%代であった項目は、「看護専門職としての技術」87%、「看護専門職としての実践力」83%であった。

施設での実習を行うことができないことも関わらず、多くの学生は看護専門職として身に付けてほしい能力について、自分自身で身につけていると感じることができており、施設での実習はもちろんであるが、学内実習を強いられる状況下であっても、各領域の教員が実践に近い状況を考慮し、シミュレーション実習を学内に取り入れたことによる結果と考える。しかし、「看護専門職としての技術」「看護専門職としての実践力」については、他の項目よりもやや低い満足度であったことから、経験して感じたことまたコロナ禍の中で実践が少なかったことから低くなったものとする。これから実践の場の中で経験を積み上げ技術・実践力を身に付けてほしい。

2022年度 学生生活の満足度調査結果（子ども学科）

1 調査回答者

4年次 58名 （調査対象：62名 回答率：93.5%）

2 調査結果

1) 満足度調査

総合的な満足度（「満足」＋「やや満足」）：88%

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	7人 12%	25人 43%	26人 45%	0人 0%	58人
	授業	0人 0%	4人 7%	28人 48%	26人 45%	0人 0%	58人
	セミナー指導	0人 0%	2人 3%	20人 34%	36人 62%	0人 0%	58人
	実習指導体制	0人 0%	3人 5%	24人 41%	31人 53%	0人 0%	58人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	4人 7%	21人 36%	33人 57%	0人 0%	58人
	チューターのサポート体制	0人 0%	3人 5%	13人 22%	42人 72%	0人 0%	58人
	職員のサポート体制	1人 2%	5人 9%	24人 41%	28人 48%	0人 0%	58人
	保健室・学生相談室のサポート	0人 0%	3人 5%	20人 34%	35人 60%	0人 0%	58人
	ボランティア活動	3人 5%	8人 14%	23人 40%	24人 41%	0人 0%	58人
	サークル活動	5人 9%	7人 12%	23人 40%	23人 40%	0人 0%	58人
	コロナ対応等に係るサポート体制	2人 3%	11人 19%	18人 31%	27人 47%	0人 0%	58人
キャリアアップ	就職支援体制	3人 5%	5人 9%	22人 38%	28人 48%	0人 0%	58人
	資格取得支援体制	2人 3%	6人 10%	21人 36%	29人 50%	0人 0%	58人
自治会活動	大学祭	7人 12%	13人 22%	20人 34%	18人 31%	0人 0%	58人
	スポーツ大会	7人 12%	17人 29%	19人 33%	15人 26%	0人 0%	58人
	オリエンテーションキャンプ	7人 12%	10人 17%	25人 43%	16人 28%	0人 0%	58人
	自治会活動全般	3人 5%	9人 16%	30人 52%	16人 28%	0人 0%	58人
施設	図書館	1人 2%	4人 7%	23人 40%	30人 52%	0人 0%	58人
	食堂	6人 10%	12人 21%	17人 29%	23人 40%	0人 0%	58人
	保健室	0人 0%	5人 9%	20人 34%	33人 57%	0人 0%	58人
	学生相談室	2人 3%	4人 7%	28人 48%	24人 41%	0人 0%	58人
	施設や設備全般	5人 9%	13人 22%	20人 34%	20人 34%	0人 0%	58人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	2人 3%	5人 9%	26人 45%	25人 43%	0人 0%	58人

※「その他」は、無回答だったものです。

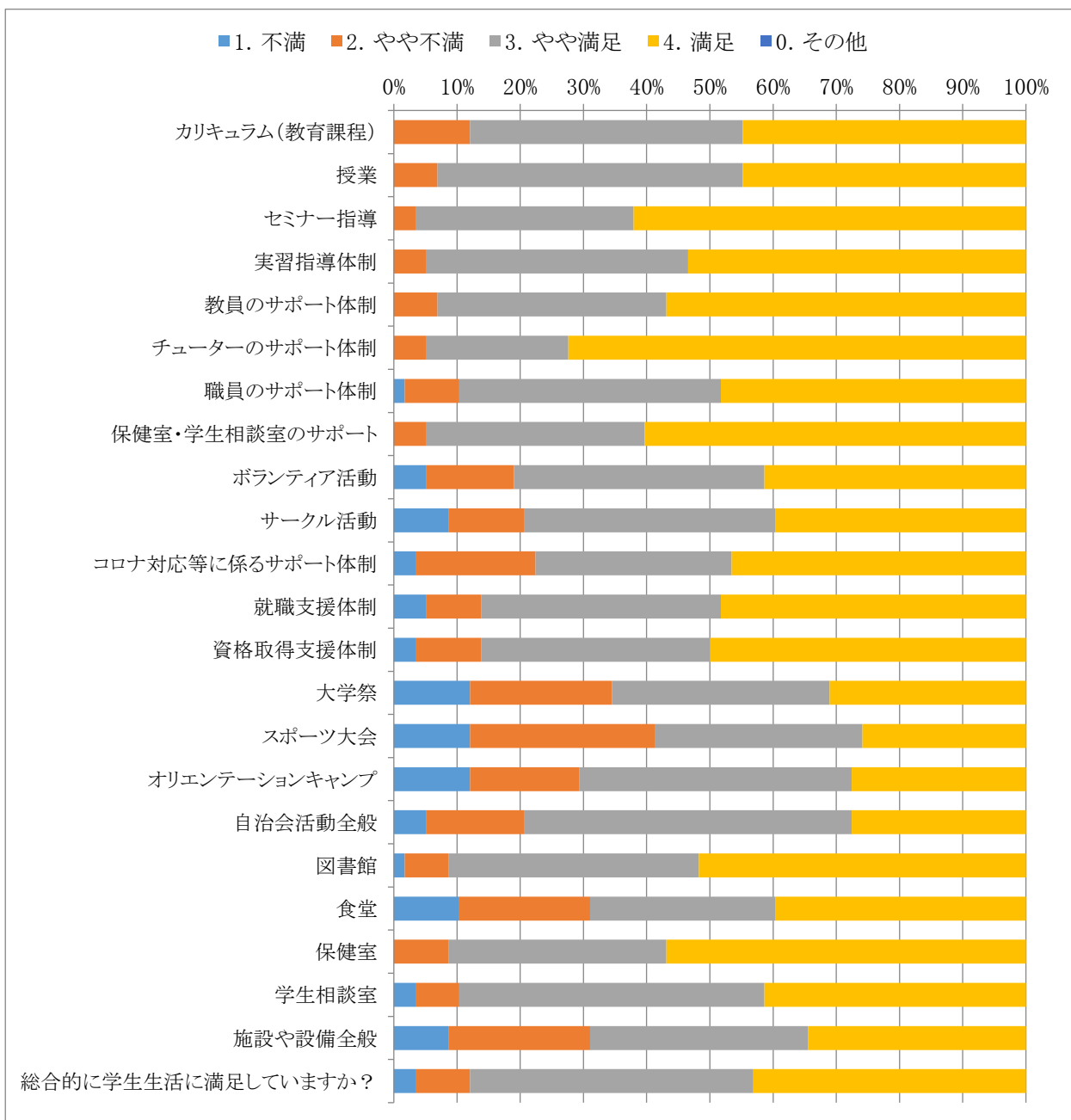
2) 自己点検

項目	1. 身に付かぬかった		2. あまり身に付かぬかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他	計	
豊かな人間性と社会性を支える広い教養	2人	3%	3人	5%	26人	45%	27人	47%	0人	0%	58人
子ども学に関する専門力	1人	2%	1人	2%	22人	38%	34人	59%	0人	0%	58人
子ども支援、子育て支援に必要な実践力	1人	2%	1人	2%	24人	41%	32人	55%	0人	0%	58人
子どもを取り巻く幅広い問題を考察できる能力	1人	2%	3人	5%	23人	40%	31人	53%	0人	0%	58人
問題解決能力、コミュニケーション能力等	1人	2%	2人	3%	21人	36%	34人	59%	0人	0%	58人
地域の教育文化の創造に関心を持ち、取り組む姿勢	1人	2%	3人	5%	22人	38%	32人	55%	0人	0%	58人

※「その他」は、無回答だったものです。

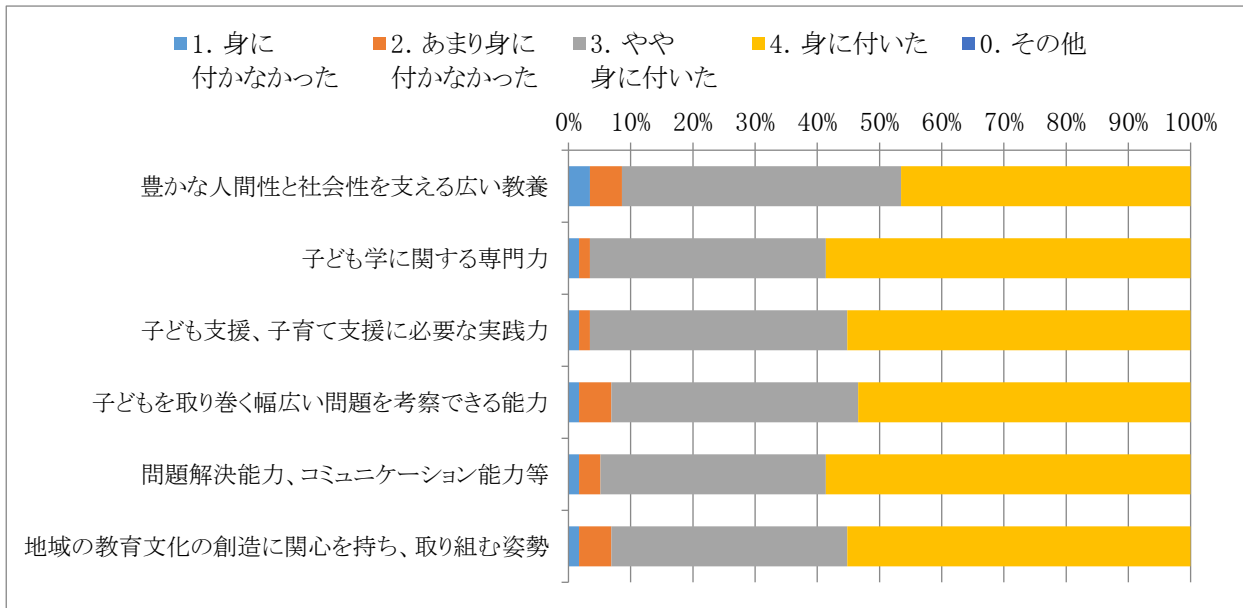
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答だったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答だったものです。

4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

子ども学科4年生の状況をみると、全22項目において満足（やや満足＋満足の割合）と回答した割合が59%から97%の間にあり、80%以上の項目が15項目、平均が84%、総合的な満足度が88%と、総じて満足度は高いと考えられる。特に高かったのは、教務の「セミナー指導(97%)」「実習指導体制(97%)」、学生生活の「保健室・学生相談室のサポート(95%)」「チューターのサポート体制(95%)」である。一方で、「スポーツ大会(59%)」「大学祭(66%)」「食堂(69%)」と、自治会活動や施設に関する満足度が低かった。

(2) 要因分析

本学科や保健室などにおける学生に寄り添ったきめ細かな学生指導・学生相談、学習の充実に向けたカリキュラム及び授業の改善などの取組を積み上げてきていることがプラスの要因として考えられる。

(3) 本年度の対策

本学科におけるカリキュラム及び授業改善、学生に寄り添ったきめ細かな学生指導の取組の更なる充実、徹底を図るとともに、施設・設備の整備については、広報・学生募集の取組を一層充実し定員を確保すること、施設・設備整備のマスタープランについて周知することにより長期的な展望をもって予算要求及び執行に係る意識を高めることに努める。また、危機管理体制、学生指導体制について、再度検討し、更なる改善を図る。

2) 自己点検のまとめ

「身に付いた＋まあまあ身に付いた」と答えた学生が占める割合が、すべての項目で91%から97%の間にあり、内3項目は95%以上、平均は94%と、昨年度並みの高い状況である。

その一方で、「身に付かなかった」と回答した学生が各項目に1名程、「余り身に付かなかった」と回答した学生が各項目に2名程おり、こうした学生を0とすることができるよう、学科の取組を更に推進していきたい。

2022年度 学生生活の満足度調査結果（音楽学科）

1 調査回答者

4年次 37名 （調査対象：41名 回答率：90.2%）

2 調査結果

1) 満足度調査

総合的な満足度（「満足」＋「やや満足」）：97%

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	2人 5%	1人 3%	22人 59%	12人 32%	0人 0%	37人
	授業	2人 5%	2人 5%	25人 68%	8人 22%	0人 0%	37人
	実技レッスン	0人 0%	1人 3%	3人 8%	33人 89%	0人 0%	37人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	7人 19%	16人 43%	14人 38%	0人 0%	37人
	チューターのサポート体制	0人 0%	4人 11%	9人 24%	24人 65%	0人 0%	37人
	職員のサポート体制	2人 5%	8人 22%	11人 30%	16人 43%	0人 0%	37人
	保健室・学生相談室のサポート	0人 0%	4人 11%	15人 41%	18人 49%	0人 0%	37人
	コロナ対応等に係るサポート体制	4人 11%	8人 22%	8人 22%	17人 46%	0人 0%	37人
キャリアアップ	就職支援体制	2人 5%	9人 24%	12人 32%	14人 38%	0人 0%	37人
	資格取得支援体制	0人 0%	3人 8%	19人 51%	15人 41%	0人 0%	37人
自治会活動 学科行事	大学祭	6人 16%	8人 22%	17人 46%	6人 16%	0人 0%	37人
	スポーツ大会	9人 24%	12人 32%	10人 27%	6人 16%	0人 0%	37人
	オリエンテーションキャンプ	3人 8%	2人 5%	17人 46%	15人 41%	0人 0%	37人
	定期演奏会	0人 0%	3人 8%	17人 46%	17人 46%	0人 0%	37人
	自治会活動全般	2人 5%	10人 27%	18人 49%	7人 19%	0人 0%	37人
施設	図書館	0人 0%	3人 8%	13人 35%	21人 57%	0人 0%	37人
	食堂	0人 0%	10人 27%	12人 32%	15人 41%	0人 0%	37人
	保健室	0人 0%	3人 8%	12人 32%	22人 59%	0人 0%	37人
	学生相談室	0人 0%	4人 11%	14人 38%	19人 51%	0人 0%	37人
	施設や設備全般	5人 14%	12人 32%	11人 30%	9人 24%	0人 0%	37人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	1人 3%	0人 0%	14人 38%	22人 59%	0人 0%	37人

※「その他」は、無回答だったものです。

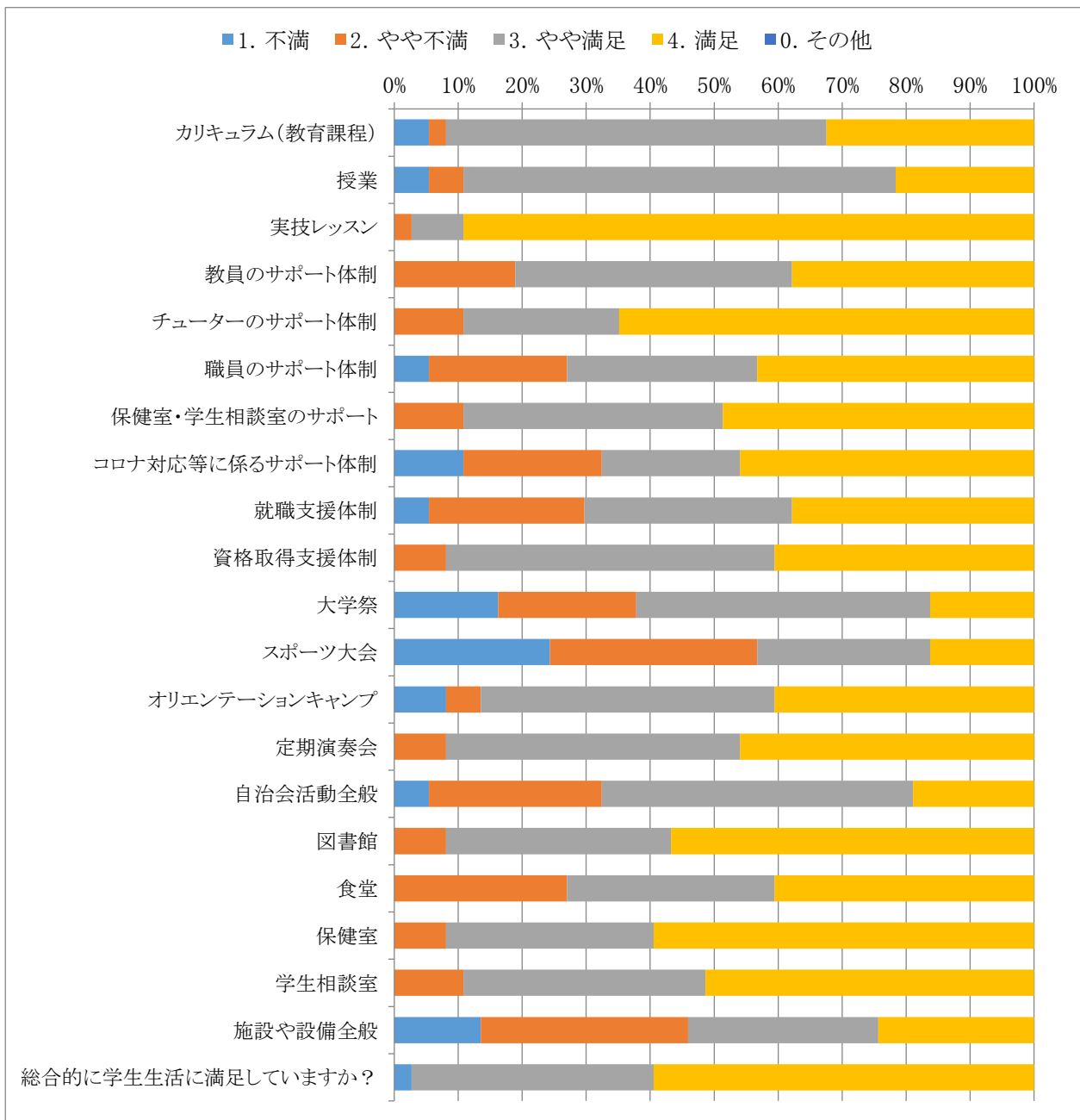
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
豊かな人間性と社会性を支える広い教養	0人	0%	1人	3%	21人	57%	15人	41%	0人	0%	37人
音楽に関する専門力	0人	0%	0人	0%	11人	30%	26人	70%	0人	0%	37人
音楽のコミュニケーションに必要な実践力	0人	0%	1人	3%	14人	38%	22人	59%	0人	0%	37人
音楽が人間に果たす役割、および社会における音楽の役割についての理解	0人	0%	3人	8%	12人	32%	22人	59%	0人	0%	37人
音楽を社会に向けて発信、伝授する能力	0人	0%	3人	8%	13人	35%	21人	57%	0人	0%	37人
地域の音楽文化に貢献できる指導力と応用力	0人	0%	7人	19%	12人	32%	18人	49%	0人	0%	37人

※「その他」は、無回答だったものです。

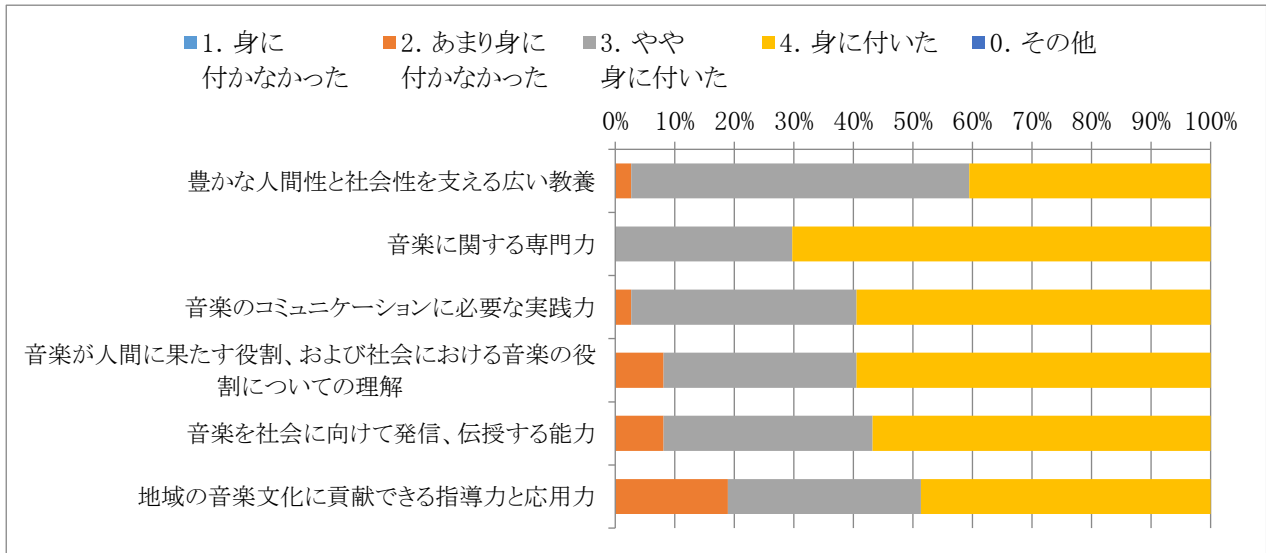
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答だったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答だったものです。

4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

教務の中でも、実技レッスンは「満足」という回答が97%と非常に高かった。カリキュラム、授業に対しても90%以上が「満足・やや満足」と回答している。

学生への支援という点では、チューターのサポートに対して「やや満足・満足」という回答が89%と高いが、教員のサポート体制は81%と昨年度よりやや低くなっている。また職員のサポートが73%と、昨年よりはやや高くなっているが、3割近い学生に不満傾向があることも看過できない。また「コロナ対応等に係るサポート体制」も不満傾向が昨年度よりは低い33%となっている。

キャリアアップでは、「資格取得支援」の満足度傾向が92%であるのに対し、「就職支援体制」が70%と差がみられる。

自治会活動・学科行事では大学祭に4割弱、スポーツ大会に6割弱と不満傾向が見られるのに対し、オリエンテーションキャンプは87%、定期演奏会は92%が満足傾向である。

大学設備に対しては、「やや満足・満足」が保健室91%、図書館92%と高かった。

総合的な学生生活については97%が満足傾向を示している。

(2) 要因分析

- ・コロナ禍を要因とした問題、また多様化する学生の問題に対する対応の難しさ。
- ・学生増加による設備不足、設備、備品の老朽化。美化意識の薄さ。
- ・教員、職員の連携不足

(3) 本年度の対策

コロナ禍のもとで十分ではなかった点を見直し、学科だけでなく、学生課、学生相談室、職員との連携を図って、さらに学生への支援を強化していきたい。

就職支援、資格取得支援に関しても各部署との連携を強め、的確な対応支援を行う。

2) 自己点検のまとめ

「身に付いた」「やや身に付いた」という回答が、「音楽に関する専門力」に関しては100%と非常に高かった。「豊かな人間性と社会性を支える広い教養」「音楽のコミュニケーションに必要な実践力」「音楽が人間に果たす役割、社会における音楽の役割を理解することができた」「音楽を社会に向けて発信。伝授する能力」という項目に関してもすべて90%以上という高い自己評価を示している。このような状態が維持できるように学科努力を継続していきたい。

2022年度 学生生活の満足度調査結果（スポーツ健康福祉学科）

1 調査回答者

4年次 112名 （調査対象：116名 回答率：96.6%）

2 調査結果

1) 満足度調査

総合的な満足度（「満足」＋「やや満足」）：82%

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	4人 4%	13人 12%	46人 41%	49人 44%	0人 0%	112人
	授業	6人 5%	15人 13%	44人 39%	47人 42%	0人 0%	112人
	時間割	4人 4%	6人 5%	52人 46%	50人 45%	0人 0%	112人
	履修登録の入力・確認のしやすさ	9人 8%	9人 8%	40人 36%	54人 48%	0人 0%	112人
学生生活	教員のサポート体制	4人 4%	7人 6%	49人 44%	52人 46%	0人 0%	112人
	チューターのサポート体制	3人 3%	4人 4%	27人 24%	78人 70%	0人 0%	112人
	職員のサポート体制	6人 5%	8人 7%	45人 40%	53人 47%	0人 0%	112人
	コロナ対応に係る体制	8人 7%	22人 20%	35人 31%	47人 42%	0人 0%	112人
	学生の自主的活動に対する支援	7人 6%	12人 11%	47人 42%	46人 41%	0人 0%	112人
	HBG夢カルテの入力・確認のしやすさ	8人 7%	8人 7%	37人 33%	59人 53%	0人 0%	112人
キャリアアップ	就職支援体制	7人 6%	11人 10%	39人 35%	55人 49%	0人 0%	112人
	資格取得支援体制	5人 4%	10人 9%	48人 43%	49人 44%	0人 0%	112人
	キャリア相談のしやすさ	6人 5%	12人 11%	45人 40%	49人 44%	0人 0%	112人
自治会活動 学科行事	大学祭	17人 15%	16人 14%	39人 35%	40人 36%	-人 -	112人
	スポーツ大会	14人 13%	20人 18%	36人 32%	42人 38%	-人 -	112人
	自治会活動全般	10人 9%	15人 13%	43人 38%	44人 39%	0人 0%	112人
	クラブ活動・サークル活動	8人 7%	14人 13%	39人 35%	51人 46%	0人 0%	112人
施設	図書館	4人 4%	8人 7%	38人 34%	62人 55%	0人 0%	112人
	食堂	12人 11%	21人 19%	34人 30%	45人 40%	0人 0%	112人
	保健室	10人 9%	9人 8%	43人 38%	50人 45%	0人 0%	112人
	学生相談室	7人 6%	10人 9%	46人 41%	49人 44%	0人 0%	112人
	施設や設備全般	13人 12%	20人 18%	37人 33%	42人 38%	0人 0%	112人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	7人 6%	13人 12%	45人 40%	47人 42%	0人 0%	112人

※「その他」は、無回答だったものです。

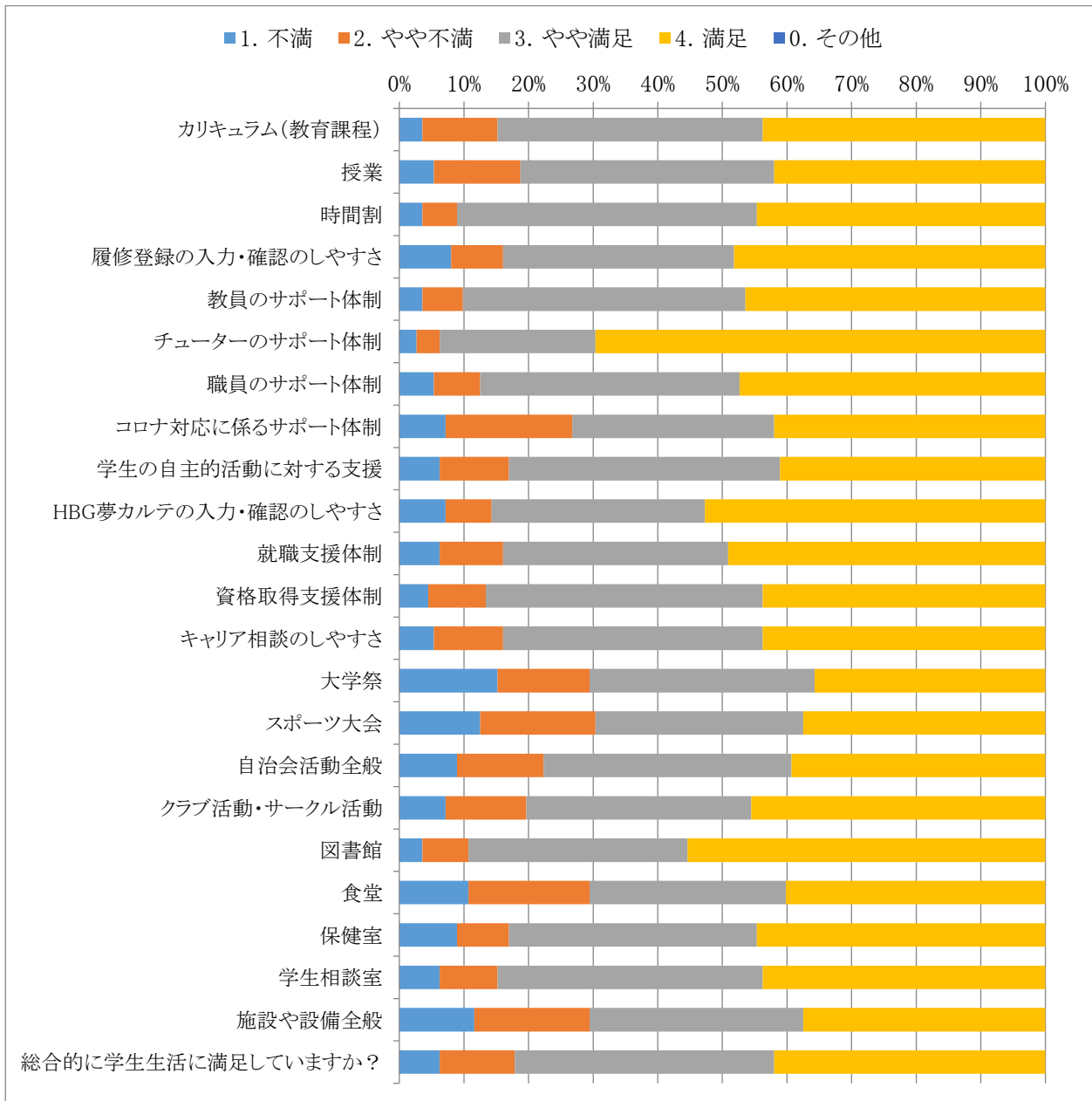
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
主体的に学習する真摯な態度を有し、幅広い教養と豊かな人間性・社会性を身に著け、多角的に物事を捉える力	2人 2%	5人 4%	52人 46%	53人 47%	0人 0%	112人
人間の健康についてスポーツ健康及び健康福祉に関する専門的知識に基づいて、関心のある事象に対して科学的に考える力	1人 1%	6人 5%	53人 47%	52人 46%	0人 0%	112人
人間の健康について身に著けた知識・技術等を総合的に活用し、理論の探求と実践を行うことにより今日的課題の解決に取り組む力	1人 1%	6人 5%	57人 51%	48人 43%	0人 0%	112人
社会人に必要な想像力、計画力、実行力、コミュニケーション能力、チームワークを修得し、地域における教育やスポーツ及び福祉の現場で活躍できる力	2人 2%	6人 5%	52人 46%	52人 46%	0人 0%	112人

※「その他」は、無回答だったものです。

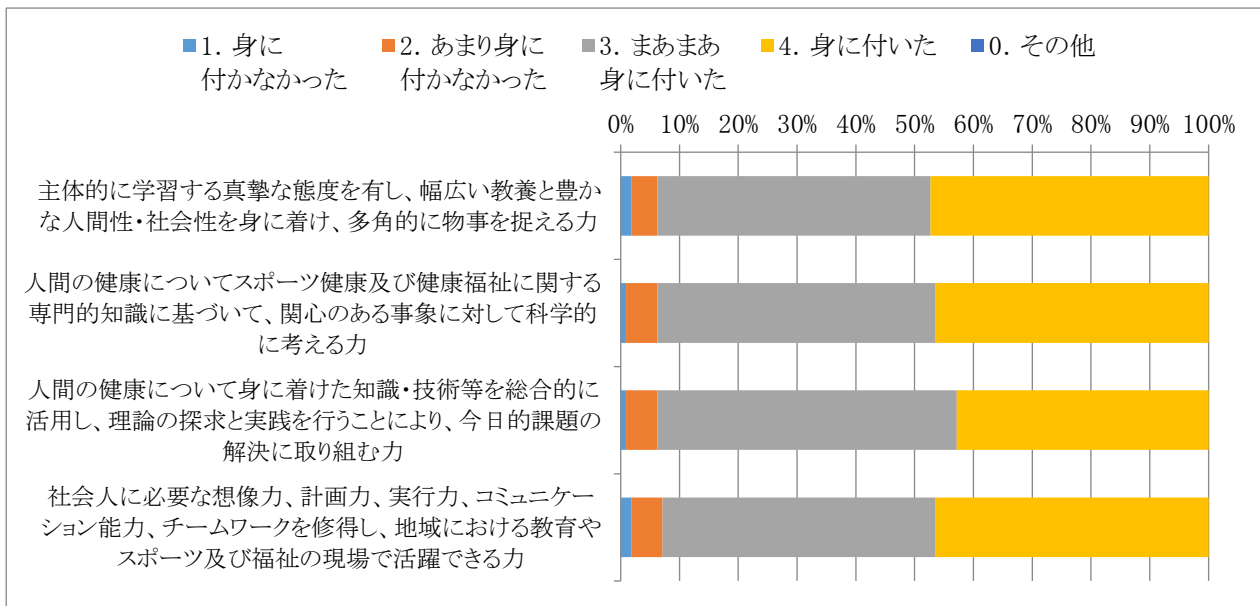
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答だったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答だったものです。

4 まとめ

1) 満足度調査

「大学生生活全般」の満足度（満足＋やや満足）は82%であり、昨年度（75%）と比較すると数値に改善が見られた。満足度が80%を上回っている項目としては、【教務】カリキュラム（教育課程）、授業、時間割、履修登録の入力・確認、【学生生活】教員・チューター・職員のサポート、学生の自主的活動支援、夢カルテ、【キャリアアップ】就職・資格取得支援、相談のしやすさ、【自治会・学科行事】クラブ・サークル活動、【施設】図書館、保健室、学生相談室であった。

授業関係では、資格対策とオンライン講義に関する意見があったので学科教員間で共有した。

学生生活関係では、合同スポーツ大会については、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、規模を縮小した大会として開催することができた。学生にとって合同スポーツ大会は「数少ない学科間の交流の場」という位置付けであるため、参加学生を増やす仕組み（競技種目の選択や対戦方式の工夫など）を慎重に協議していきたい。一方で、令和4年度に初めて人間健康学部単独での大学祭を開催した。コロナ禍の下での開催であり、色々な制限がある中での開催となったが、令和4年度の経験をブラッシュアップし、大学祭の規模を徐々に大きくしていきたい。また、土台となる自治会の組織作りと自治会に所属する学生を育てることについて、全ての教職員が一つになって一人一人の役割を果たし、学生主体で自治会運営できる力を育むよう取り組んでいきたい。

施設関係では、食堂についての指摘が散見された。食堂を含めコミュニケーションの場（学生が集まる場所）を華やかにすることを含めた戦略を検討したい。

2) 自己点検のまとめ

全ての項目において、「身に付いた」「まあまあ身に付いた」という回答が90%を超える結果であり、80%前半であった昨年度と比較すると数値に改善が見られた。「主体的に学習する真摯な態度を有し、幅広い教養と豊かな人間性・社会性を身に付け、多角的に物事を捕える力」が93%、「人間の健康についてスポーツ健康及び健康福祉に関する専門的知識に基づいて、関心のある事象に対して科学的に考える力を身に付けている」93%、「人間の健康について身に付けた知識・技術等を総合的に活用し、理論の探求と実践を行うことにより、今日的課題の解決に取り組む力」が94%、「社会人に必要な想像力、計画力、実行力、コミュニケーション能力、チームワークを修得し、地域における教育やスポーツ及び福祉の現場で活躍できる力」92%、といずれも昨年度と同様の高値を示してい

る。4年目最後の年のさまざまな経験が、学生の自信をつけ、社会人としての心の準備を整えた、とポジティブな傾向として捉えたい。